

テクノス通信 VOL. 20 Jan.2011

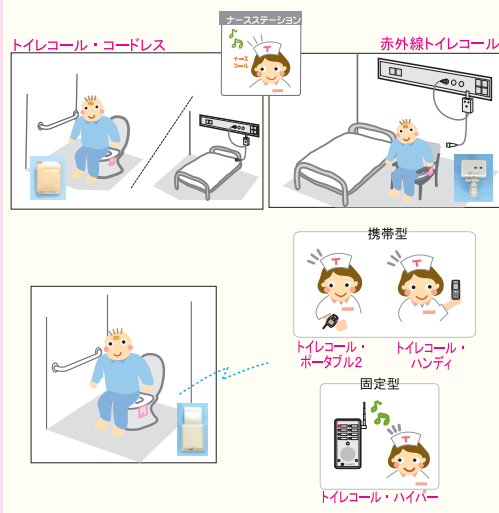


「トイレコール・座コール活用法！」

転倒・転落事故発生場所で、ベッド周りに次いで多いのがトイレです。密室であり、見守り介助にも限界があるトイレでは、事故に繋がる危険行動を把握して対策するには、多くの課題があることでしょう。同様に、車いすの利用者が多い医療・介護施設においては、車いすからの不意な立ち上りが事故に繋がるケースも多いようです。そこで今回は、トイレでの対象者の動きをお知らせする「トイレコール」と、車いすからの立ち上がりをお知らせする「座コール」について特集しましたのでご覧ください！

トイレコール（トイレから立ち上がるとお知らせ）

トイレコール各タイプ



対象者

- * トイレからの自立が危険な方
- * トイレ後にナースコールを押さない方

● トイレコール設置 & 活用例 ●

タイプ別活用シーン

- * トイレコール・コードレス
室内トイレに設置し、ナースコールで報知したい
- * 赤外線トイレコール
ポータブルトイレに設置し、ナースコールで報知したい
- * トイレコール・ポータブル2、トイレコール・ハンディ
共用トイレに設置し、携帯型受信器で報知したい
- * トイレコール・ハイパー
共用トイレに使用し、固定型受信器で報知したい

設置のポイント

- * トイレセンサー（赤外線を除く）は上部の青シール部（面）がセンサーになっています。便座裏の突起がセンサー部（青シール）に当たる位置に設置します。



こんな使い方があります！

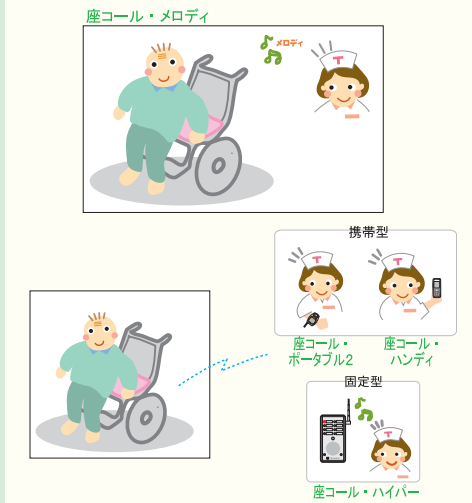
- * 室内トイレで用足し後、呼出ボタンを押さずに行動をする対象者にコードレスタイプを使用。
→便座から腰を浮かせたタイミングで、ナースコールでお知らせします。

こんな使い方があります！

- * 夜間帯のトイレ介助時に割り込み業務が入ることがあります。
→ハンディタイプを使用する事で、携帯受信器にトイレ後の介助タイミングをお知らせします。

座コール（車いすから立ち上がるとお知らせ）

座コール各タイプ



対象者

- * 認知障害や自立過信で車いすやイスから立ち上り歩こうとする方

● 座コール設置 & 活用例 ●

タイプ別活用シーン

- * 座コール・メロディタイプ
対象者の周囲にスタッフが居てその場ですぐに対応したい
- * 座コール・ポータブル2、座コール・ハンディ
対象者との間に距離があり、携帯型受信器で報知したい
- * 座コール・ハイパータイプ
対象者との間に距離があり、固定型受信器で報知したい

設置のポイント

- * センサーは車いす座面の後端に合わせて設置します。座面の前寄りに設置すると、少しの体動で鳴ってしまう、頻回報知や誤報の原因となります。

こんな使い方があります！

- * 食堂のイスに設置し、食事が終わり1人で居室に帰ろうとする対象者にメロディタイプを使用。
→転倒に繋がる可能性がある単独行動をお知らせします。
- * 玄関口で乗車待機中に、車いすから立ち上がろうとする対象者にメロディタイプを使用。
→腰を浮かすと周りのスタッフにお知らせします。

こんな使い方があります！

- * ユニット内において車いすからの立ち上がりによる転倒が心配な対象者に、ポータブル2タイプを使用。
→死角が多く目が届きにくい場所での立ち上がり行動をお知らせします。